

令和6年度事業実施状況

【交流部関係】

I 多文化共生社会支援事業

1 外国人相談窓口運営事業（外国人相談窓口運営、相談員研修会など）	1
2 災害多言語支援センター事業（広島県災害多言語支援センター設置・運営訓練、 災害時ボランティア研修会など）	5
3 日本語学習支援事業	6
4 多文化共生ボランティア事業	9
5 情報提供事業（ふれあいコーナー運営、機関誌発行）	13
6 日本文化理解促進事業	14
7 ひろしま国際交流サミット運営事業	16
8 中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会運営事業	18

II 平和貢献推進・国際人材育成事業

9 平和貢献人材育成事業	19
10 グローバルキャリア教育支援セミナー事業	20
11 「国際理解講座」開催事業	21
12 国際人材養成「異文化コミュニケーション研修」開催事業	22

III 留学生支援事業

13 留学生奨学金支給等事業	23
14 留学生住宅情報提供事業（民間宿舎情報提供、留学生住宅保証）	24
15 留学生就職支援事業	25
16 留学生受入促進事業	29
17 留学情報等提供事業（留学生ウェブサイト、留学生交流）	30

1 外国人相談窓口運営事業

(外国人相談窓口運営, 相談員研修会など)

1 目的

外国人が地域の重要な活力源として地域社会に参加できるよう、言葉や生活習慣の違いから生じる課題に適切に対応し、外国人が暮らしやすく、活躍できる環境づくりと地域で外国人と生活を共にする県民の国際理解を併せて進めていく。

2 事業概要

(1) 外国人相談窓口の運営 (平成 18 (2006) 年 4 月 15 日開設)

設 置	広島県
運 営	(公財) ひろしま国際センター (広島県から運営を受託)
設置場所	広島市中区中町 8-18 広島クリスタルプラザ 6F
相談業務の概要	<目的> 広島で暮らす外国人の日常生活に関する相談に対応して、必要な生活情報を提供することにより、外国人が暮らしやすい環境を整備する。
	<業務内容> 在留資格や社会保険労務など様々な分野の相談に対して、面談や電話(フリーダイヤルあり)により多言語で対応する。
	<対応言語> 12 か国語 (英語、韓国語、中国語、タガログ語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、ロシア語、ウクライナ語)
相談体制	情報相談員と専門相談員 (在留資格、社会保険・労働条件、法律・人権等、通訳) を配置し、専門的な内容の相談に多言語で対応できる体制を整える。

【相談日・時間】

区 分		相談日(※)	時 間	
情報相談		月曜日～金曜日	10：00～19：00	
		土曜日	9：30～18：00	
在留資格		毎週 木曜日、土曜日 ※法律・人権問題は土曜日のみ	10：00～12：00	
社会保険・労働問題			13：00～16：00	
法律・人権問題			(前日までの予約があれば次の時間帯も対応) 12：00～13：00	
通 訳	スタッフ	6 か国語 英語、中国語、タガログ語、ベトナム語、韓国語、スペイン語	毎週 木曜日、土曜日 ※韓国語とスペイン語は木曜日のみ	10：00～12：00 13：00～16：00
	通訳会社	12 か国語 英語、韓国語、中国語、タガログ語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、ロシア語、ウクライナ語	月曜日～金曜日	10：00 ～ 19：00
			土曜日	9：30 ～ 18：00

(※) 祝日及び年末年始を除く

【電話番号】

フリーダイヤル 0120-783-806

ナヤミ ハレロ

(2) 市町へ出張相談

目的・内容	市町の外国人相談業務を補完し、また、遠隔地に居住する外国人住民の利便性を図るため、市町へ通訳相談員及び専門相談員を派遣する。
実施回数・実施場所	県内から地域を選定し、各地域で1回（1日）以上 実施場所は、市町の希望を確認し決定
出張相談日時	土曜日又は日曜日の10時～16時
相談内容	在留資格、社会保険、労働問題、法律、人権問題 通訳（英語、中国語、ベトナム語、タガログ語）

(3) 外国人相談の相談員（担当者）研修会

目 的	県や市町の外国人相談の窓口等において、外国人から相談を受ける際の注意点や技法を学ぶとともに、他団体の相談担当者との情報共有や連携を促進し、相談窓口対応の質の向上を図る。
内 容	○異なる文化・慣習を持った人とのコミュニケーション ○傾聴技法 ○相談員（担当者）自身のメンタルヘルス
対象者	県及び市町において、外国人住民等からの相談を受ける相談員や担当職員（国際交流協会等の職員を含む）
実施回数・実施場所	3回程度実施 実施場所および実施方法（オンラインでの開催を含む）は県と協議し決定

令和6年度実績

(1) 外国人相談窓口（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

（単位：人・件数）

国籍	R6年度 相談人数	R5年度 相談人数
中国	48	55
フィリピン	42	43
米国	27	12
ベトナム	13	27
韓国	11	8
ネパール	9	11
フランス	8	2
ブラジル	7	17
スペイン	6	0
台湾	4	5
タイ	4	3
インドネシア	3	8
ペルー	3	14
インド	3	12
アフガニスタン	3	1
バングラデシュ	3	4
カナダ	3	0
カンボジア	2	0
英国	2	1
ポルトガル	2	0
オーストラリア	2	5
ミャンマー	1	4
モンゴル	1	3
日本	120	128
その他	15	32
不明	32	33
計（人）	374	428

相談内容	R6年度 相談件数	R5年度 相談件数	主な内容
入管手続	75	104	在留資格の取得・変更・更新 （就労系：就職・転職、身分系：家族の呼び寄せ、婚姻等）
雇用・労働	39	42	不当解雇、給与未払い、パワハラ
社会保険・年金	30	16	健康保険の加入・脱退、失業保険手続き
税金	11	9	市県民税の滞納、インボイス手続き、確定申告
医療	33	33	外国語対応可能な病院の紹介
出産・子育て	3	3	保育施設、育児休業給付金
教育	36	21	日本語の話せない子どもの就学・進路相談
日本語学習	46	58	日本語教室、ワンペア日本語学習の紹介
防災・災害	1	0	災害時の多言語ツール
住宅	14	12	外国人対応可能な不動産会社、連帯保証人
身分関係	37	19	結婚・離婚の手続き、子どもの親権、養育費
交通・運転免許	13	6	自動車免許証の更新、交通事故
通訳・翻訳	17	31	通訳派遣依頼、電話通訳依頼、書類等の翻訳
その他	92	122	損害賠償請求、貸付金返済、遺産・相続、事件・事故、詐欺被害
計	447	476	

※相談内容の区分は、国区分に準拠

(2) 市町への出張相談

会 場	日 時	場 所	相談 件数	相談内容
神石高原町	令和6年10月19日(土) 10:00～16:00	【10:00～12:00】 三和協働支援センター (神石高原町小島 2025) 【14:00～16:00】 神石協働支援センター (神石高原町高光 2117-10)	0 件	—
三次市	令和6年11月9日(土) 10:30～16:30	みよしまちづくりセンター (三次市十日市西六丁目 10-45)	1 件	在留資格 1 件
廿日市市	令和7年2月1日(日) 10:00～15:00	廿日市市市民活動センター (廿日市市住吉二丁目 2-16)	6 件	在留資格 3 件 身分関係 1 件 その他 2 件

(3) 外国人相談の相談員(担当者)研修会

ア 実施日時等

回	テーマ	日 時	参加者数
第1回	相談業務における相談員および通訳者の役割について考える	令和6年10月11日(金) 13:30～15:30	40人
第2回	相談事例検討会 ～個々の相談スキルをブラッシュアップする～	令和6年12月6日(金) 13:30～15:30	28人

イ 講師

特定非営利活動法人国際活動市民中心(CINGA) コーディネーター 新居 みどり 氏

2 災害多言語支援センター事業

(広島県災害多言語支援センター設置・運営訓練、災害時ボランティア研修会など)

1 目的

県内に大規模災害が発生した場合に、言葉や慣習の違いから情報を入手しにくく支援を受けられない恐れがある外国人のために、必要な情報を多言語化して提供し、支援することを目的として、県と共同で支援センターを設置する。

2 事業概要

(1) 災害多言語支援センター研修（災害発生時の円滑な対応と準備等の研修）

開催日時	令和6年6月26日（金）14：00～16：00
実施場所	オンライン形式（ZOOM配信）
参加者人数	災害時多言語支援ボランティア、市町職員、ひろしま国際センター及び広島県国際課職員 合計54名
講師	多文化共生マネージャー全国協議会 代表理事 土井 佳彦氏
実施内容	災害多言語支援センターの設置・運営について、能登半島地震などの事例を踏まえ、災害時の対応を確認するとともに、市町や県の役割など、災害が実際に発生した際の円滑な対応と準備について、自治体国際化協会の「防災・減災のための多言語支援の手引き 2023」などを引用しながら研修を実施

(2) 広島県災害多言語支援センター訓練（災害発生時の円滑な対応に向けた訓練）

開催日時	令和7年1月29日（水）14：00～16：30
実施場所	ひろしま国際センター 交流ホール
参加者人数	災害時多言語支援ボランティア、市町職員、ひろしま国際センター及び広島県国際課職員 合計21名
講師	多文化共生マネージャー全国協議会 代表理事 土井 佳彦氏
実施内容	災害多言語支援センターの設置・運営について、災害時の対応・役割を確認するとともに、災害が実際に発生した際の円滑な対応に向けた訓練を実施

3 日本語学習支援事業

【ワンペア日本語学習】

1 目的

外国籍県民が地域社会の一員として共に生活していくために必要な日本語コミュニケーション能力の習得を支援するとともに、県民ボランティアと外国籍県民が気楽に幅広い交流ができる場を提供し、身近な所から国際交流を推進する。

2 令和6年度実績

事業名／開催日	概 要	開催場所	参加者（人）
ワンペア日本語学習 ／随時開催	日本語を学びたい外国人と日本語を教えたい県民ボランティアがペアになり、お互いが都合のよい時間にそれぞれのカリキュラムで学習を行う。	HIC ふれあい コーナー	外国人 179 日本人 179

注：参加者数は延べ人数。

(参考) 過去の実施状況

(単位：人)

年度		H4～12	H13～24	H25～R2	R3	R4	R5	R6	累計
区分									
ワンペア 日本語学習	ペア数	901	3,634	1,800	144	183	201	179	7,042
	延人数	1,802	7,268	3,600	288	366	402	358	14,084
日本語教室	外国人 (延人数)	—	46,203	—	—	—	—	—	46,203
	日本人 (延人数)	—	19,281	—	—	—	—	—	19,281
延人数合計		1,802	72,752	3,600	288	366	402	358	79,568

※日本語教室は平成24年度をもって廃止

【ワンペア日本語学習支援ボランティア講座】

1 目的

ボランティアの資質向上を図るため、ワンペア日本語学習支援ボランティアを対象に講座等を実施する。

2 令和6年度実績

(1) 令和6年度ワンペア日本語学習支援ボランティア講座「やさしい日本語」

ねらい	・ボランティアに、日本語を教えることだけがボランティアの役目ではないことを認識してもらう。 ・日本語が得意ではない外国人とのコミュニケーションをとるために「やさしい日本語」というツールがあることを知ってもらう。 ・ボランティア活動に限らず、日常生活でも外国人との交流をスムーズに行うために、「やさしい日本語」を活用してもらう。
対象者	ワンペアボランティア登録後、ペア成立したことのないボランティアならびに現在学習者の紹介待ちのボランティア
日時	令和6年10月20日（日）14:00－16:00
開催場所	ひろしま国際センター交流部交流ホール
内容	やさしい日本語について知ってもらい、言葉をやさしく言い換える練習を行う。また、やさしい日本語を使用することで、工夫次第で外国人住民と日本語でコミュニケーションがとれ、一方的ではなく相互理解のための対話を実現できることを学ぶ。
講師	ひろしま国際センター 研修部 日本語常勤講師 犬飼康弘 氏
参加人数	受講者：15名

(2) 令和6年度ワンペア日本語学習支援ボランティア講座「外国人住民の『声』を聴く」

ねらい	・ボランティアに、日本語を教えることだけがボランティアの役目ではないことを認識してもらう。 ・学習者が望む日本語学習とは何かをボランティアに気付いてもらう。 *ボランティアの役目として大切なこと* ・学習者が理解できていない「穴」を埋めてあげること ・学習者の興味・関心・考え・意見を引き出すこと ・学習者の声を聴き、学習者の気持ちに寄り添うこと
対象者	令和6年10月20日（日）実施の「やさしい日本語」講座受講者
日時	令和6年10月27日（日）14:00－16:00
開催場所	ひろしま国際センター交流部交流ホール
内容	外国人住民をゲストとして迎え、ボランティアが実際に会話する機会をもつことで、在住外国人とはどういう人なのか体感する（ワークショップ）。
講師	ひろしま国際センター 研修部 日本語常勤講師 犬飼康弘 氏
参加人数	受講者：16名 外国人住民ゲスト：4名

【ワンペア日本語学習交流会】

1 目的

ペア同士の横の関係を築き、学習相手以外にも HIC に顔見知りをつくることで、学習者にとって HIC をより安心して楽しい場と感じてもらえるようにするため、また、学習方法等で困った際にボランティア同士が気軽に相談できるような関係性をつくるため、ワンペア日本語学習実施中の学習者とボランティアがペアで参加する交流会を実施する。

2 令和 6 年度実績

ね ら い	・ワンペア学習で来館する人同士が顔見知りになる ・よく見かける「あの人」から、H I C の〇〇さんへ ・ワンペアの日々の活動で唯一できない横のつながりをつくる ・交流会での活動を通じ、ボランティアが学習者の生活状況を改めて知り、潜在的なニーズ等、今後のワンペア活動に対するヒントを得る
対 象 者	ワンペア日本語学習実施中のペア
日 時	令和 7 年 3 月 2 4 日（月） 1 4 : 0 0 - 1 6 : 0 0
開催場所	ひろしま国際センター交流部ふれあいコーナー
内 容	・部屋の四隅 ・ワールドカフェ形式の「写真を使った活動」 ・クイズ大会
ファシリテーター	ひろしま国際センター 研修部 日本語常勤講師 犬飼康弘 氏
参加人数	ボランティア：10名 学習者：10名

4 多文化共生ボランティア事業

1 目的

多文化共生活動に関心・意欲のあるボランティアに活動の場を提供するとともに、地域の外国人の利便性向上や各地域で行われる国際交流事業の効率的・効果的な実施を支援する。

2 事業概要

外国人の日本語学習の支援を行うワンペア日本語学習支援ボランティアや、住民・利用者向け資料等の翻訳、国際交流事業等での通訳・ガイドのボランティア、外国人住民が医療・保健機関を受診する際の医療通訳ボランティアなど、生活の様々な場面でコミュニケーションのサポートを行うボランティアの登録及び紹介・派遣を行っている。

また、ボランティア登録者の資質向上を図るため、講習会・研修会を実施している。

3 ボランティア登録者数（令和7年3月末現在）

分 野	登録者数（人）
ワンペア日本語学習支援	189
通訳・ガイド、翻訳	302
医療通訳	133
災害時外国人支援	63
ホームステイ・ホーム ビジットホストファミリー	28
計	715

4 ボランティア活動実績（令和6年度）

分 野	件数	延べ人数
ワンペア日本語学習支援	179	179
通訳・ガイド、翻訳	18	411
医療通訳	169	169
災害時外国人支援	0	0
ホームステイ・ホーム ビジットホストファミリー	13	—
計	379	759

(1) 通訳・ガイド、翻訳ボランティアの活動内容

(単位：人)

	時期	依頼者	内容	対応人数
1	4月	広島港客船誘致・おもてなし委員会（事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	【広島港・宇品】客船乗船客に対する観光サポート及び通訳（英語）	68
2	4月	広島港客船誘致・おもてなし委員会（事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	【広島港・五日市】客船乗船客に対する観光サポート及び通訳（英語）	39
3	5月	広島港客船誘致・おもてなし委員会（事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	【広島港・宇品】客船乗船客に対する観光サポート及び通訳（英語）	15
4	5月	広島港客船誘致・おもてなし委員会（事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	【広島港・五日市】客船乗船客に対する観光サポート及び通訳（英語）	13
5	6月	広島港客船誘致・おもてなし委員会（事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	【広島港・宇品】客船乗船客に対する観光サポート及び通訳（英語）	9
6	6月	広島港客船誘致・おもてなし委員会（事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	【広島港・五日市】客船乗船客に対する観光サポート及び通訳（英語）	21
7	6月	公益財団法人広島観光コンベンションビューロー	国際会議での観光情報の提供と通訳（英語）	8
8	7月	広島港客船誘致・おもてなし委員会（事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	【広島港・五日市】客船乗船客に対する観光サポート及び通訳（英語）	20
9	8月	広島港客船誘致・おもてなし委員会（事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	客船乗船客に対するタクシー利用時の注意事項の翻訳（中国語）	1
10	8月	広島港客船誘致・おもてなし委員会（事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	【広島港・五日市】客船乗船客に対する観光サポート及び通訳（英語）	5
11	8月	広島港客船誘致・おもてなし委員会（事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	【広島港・宇品】客船乗船客に対する観光サポート及び通訳（英語）	7
12	9月	広島港客船誘致・おもてなし委員会（事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	【広島港・宇品】客船乗船客に対する観光サポート及び通訳（英語）	31
13	9月	広島港客船誘致・おもてなし委員会（事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	【広島港・五日市】客船乗船客に対する観光サポート及び通訳（英語）	10
14	10月	広島港客船誘致・おもてなし委員会（事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	【広島港・宇品】客船乗船客に対する観光サポート及び通訳（英語）	48
15	11月	広島港客船誘致・おもてなし委員会（事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	【広島港・宇品】客船乗船客に対する観光サポート及び通訳（英語）	27
16	12月	公益財団法人広島市スポーツ協会	中国香港 U-14 女子サッカーチームとの交流にかかる通訳	6
17	1月	広島港客船誘致・おもてなし委員会（事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	【広島港・宇品】客船乗船客に対する観光サポート及び通訳（英語）	29
18	3月	広島港客船誘致・おもてなし委員会（事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	【広島港・宇品】客船乗船客に対する観光サポート及び通訳（英語）	54

(2) 医療通訳ボランティアの活動実績

区 分	派遣件数	言語別内訳
医療機関	160 件	英語 84、中国語 38、ベトナム語 11、タガログ語 6、スペイン語 21
保健機関	9 件	英語 9
計	169 件	英語 93、中国語 38、ベトナム語 11、タガログ語 6、スペイン語 21

5 ボランティアを対象にした講座等の開催

(1) 医療通訳ボランティアスキルアップ研修

ア 講義（全言語共通）

ね ら い	医療知識の向上、病気と治療に関する正しい理解
対 象 者	医療通訳ボランティア登録者
日 時	令和 6 年 7 月 20 日（土）14：00～16：00
場 所	ひろしま国際センター 交流ホール
形 式	オンライン形式
内 容	人と感染症の出会い～HIV 感染症/エイズがわかる～
講 師	おだ内科クリニック 医師 高田 昇 氏
参加人数	25 名

イ 模擬通訳（英語のみ）

ね ら い	基本知識・訓練法の習得、通訳技術の維持向上、派遣可能な登録者の拡充
対 象 者	医療通訳ボランティア（英語）登録者
日 時	9/1(日)13:30～16:30、9/8(日)9:30～16:30、 9/15(日)9:30～16:30、9/29(日)9:30～16:30
場 所	オンライン研修
内 容	通訳技術訓練法の体験、倫理心得、検査の知識、病気の知識、模擬通訳トレーニング、筆記試験
講 師	一般社団法人日本公共通訳支援協会 所属講師
参加人数	英語 8 名

模擬通訳（全言語別）

ねらい	基本知識・訓練法の習得、通訳技術の維持向上、派遣可能な登録者の拡充
対象者	医療通訳ボランティア登録者（全言語対象）
日時	・英語・スペイン語・ポルトガル語 1/25(土)13:30～16:30、2/2(日)9:30～16:30、 2/8(土)9:30～16:30、2/15(土)9:30～16:30 ・中国語・ベトナム語・タガログ語 1/26(日)13:30～16:30、2/9(日)9:30～16:30、 2/11(祝火)9:30～16:30、2/16(日)9:30～16:30
場所	オンライン研修
内容	通訳技術訓練法の体験、倫理心得、検査の知識、病気の知識、模擬通訳トレーニング、筆記試験
講師	一般社団法人日本公共通訳支援協会 所属講師
参加人数	英語 5 名、中国語 4 名、スペイン語 2 名、タガログ語 1 名

ウ 医療通訳研究会（全言語共通）

ねらい	医療通訳について講師の経験談の講義やパネルディスカッションを通して、ボランティアの「聞いてみたいこと、日頃から気になっていること」の疑問解決を図る
対象者	医療通訳ボランティア登録者
日時	令和 7 年 1 月 12 日（日）13：30～15：30
場所	ひろしま国際センター 交流ホール
形式	対面とオンラインのハイブリッド形式
内容	医療通訳の現場で～それぞれの立場から～
講師	まりこどもクリニック港南台 院長 岩本 眞理 氏 MIC かながわ 通訳コーディネーター 矢島 行子 氏 MIC かながわ 医療通訳士 岩本 弥生 氏 りんくう国際医療通訳翻訳協会 医療通訳士 本田 友香 氏
参加人数	27 名

5 情報提供事業

(ふれあいコーナー運営、機関誌発行)

1 目的

県民や外国人が自由に歓談できるふれあいの場を提供するとともに、日本や外国に関する多様な情報を提供する。

2 事業概要

(1) 交流ホール等の運営 (平成4(1992)年7月7日開館)

① 所在地：広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階 (面積354㎡)

② 施設：

- インフォメーションコーナー：総合案内、情報提供 等
- ふれあいコーナー：歓談、外国の新聞・雑誌の閲覧 等
- 図書・情報コーナー：日本や外国の本・パソコンによる情報提供 等
- 交流ホール：国際交流を目的とした事業に貸出
- JICA コーナー：国際協力機構(JICA)の事業に関する情報揭示

(2) 「HIC 通信」の発行：ひろしま国際センターからの情報提供機関誌

(3) 新聞広告の掲載：HICの事業紹介など

3 令和6年度実績

(1) 交流ホール等の運営 (開館日数：289日)

開館時間：月～金 10:00～19:00、土 9:30～18:00

休館日：日曜日、祝日、12月28日～1月4日

① 来館者数

区分	日本人	外国人	計	外国人比率
総数(人)	3,795	3,346	7,141	46.9%
1日平均	13.1	11.6	24.7	

② インフォメーションコーナーでの相談・問合せ件数

区分	日本人	外国人	計	外国人比率
総数(件)	114	155	269	57.6%
1日平均	0.39	0.54	0.93	

※令和6年11月3日(日)に開催した「HIC 世界体験デー」の来場者は含んでいません。

(参考) 過去の状況

(単位：人, %, 件)

年度 区分	H4～26計	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	累計
来館者総数	804,052	14,828	16,224	15,506	14,039	10,909	4,799	3,531	5,641	7,443	7,141	904,113
日本人	396,795	8,306	8,649	8,303	7,524	5,647	2,520	1,588	3,153	4,101	3,795	450,381
外国人	407,257	6,522	7,575	7,203	6,515	5,262	2,279	1,943	2,488	3,342	3,346	453,732
外国人比率	50.7	44.0	46.7	46.5	46.4	48.2	47.5	45.0	44.1	44.9	46.9	50.2
相談・問合せ	78,452	560	498	296	359	406	308	143	259	295	269	81,845

(2) HIC 通信の発行：2回 (第124～125号)

(3) 新聞広告の掲載：2回

(4) テレビ・新聞報道：26件 (留学生奨学金決定通知書授与式、HIC 世界体験デー等)

6 日本文化理解促進事業

1 目的

在広外国人等に、地域の伝統行事への参加、歴史文化鑑賞などを通じた日本文化体験の機会や地域住民との交流の場を提供する。

また、草の根国際交流の輪を広げ、地域における国際交流を促進するとともに、ボランティアなどの活動の場を提供する。

2 事業概要

(1) 地域交流促進

日頃、外国人との交流が少ない地域で開催されるイベント・行事などに、外国人参加者の募集・派遣を行い、地域住民と外国人とが交流できる機会を提供する。

(2) 外国人日本文化体験

在広外国人を対象に、能楽鑑賞や雪体験など日本・広島伝統的な文化やイベントの体験機会を提供する。



交流会（左）、雪体験（右）

3 令和6年度実績

(1) 地域交流推進

実施日	プログラム名	実施場所	協力団体等	外国人参加者	
				人数	国・地域
R7年2月 13日 (木)	外国人住民と高校生との冬の交流会	北広島町	広島県立加計高等学校芸北分校	30	15

(2) 外国人日本文化体験

実施日	プログラム名	実施場所	協力団体等	外国人参加者	
				人数	国・地域
R6年5月 28日 (火)	能楽鑑賞	広島アステールプラザ	(公財) ひろしん文化財団	27	5

地域交流推進 過去の実施状況（平成17(2005)年度開始）

区分／年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
プログラム数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
参加延べ人数（人）	42	39	37	42	79	46	28	29	18	30
参加者の国・地域	8	11	13	14	16	16	14	16	10	15
協力ボランティア（人）	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0

区分／年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
プログラム数	1	2	2	2	2	2	2	2	1	1
参加延べ人数（人）	49	91	77	82	81	80	78	82	49	44
参加者の国・地域	7	23	18	20	15	20	25	20	11	11
協力ボランティア（人）	63	139	130	130	137	126	72	7	3	2

外国人日本文化体験 過去の実施状況（平成17年度開始）

区分／年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
プログラム数	1	1	1	1	1	-	-	1	1	1
参加延べ人数（人）	25	39	7	27	33	-	-	28	14	27
参加者の国・地域	6	8	5	8	9	-	-	11	6	5
協力ボランティア（人）	0	0	0	0	2	-	-	0	0	0

区分／年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
プログラム数	3	3	4	5	3	3	3	1	1	1
参加延べ人数（人）	89	108	138	239	121	138	119	20	22	42
参加者の国・地域	13	17	27	35	19	21	23	7	6	8
協力ボランティア（人）	40	42	60	55	43	50	43	0	0	0

（参考）旧地域交流推進事業 過去の実施状況（平成13年度開始）

区分／年度	H13	H14	H15	H16	累計
プログラム数	12	6	10	8	36
参加者数計（A+B）	1,302	550	1,729	794	4,375
事業参加者（A）	1,255	443	1,448	629	3,775
協力ボランティア（B）	47	107	281	165	600
協力ボランティアの国・地域	18	24	41	10	93

注：日本人参加者数には、中学校等からの依頼による国際理解教室参加中学生数を含む。

（参考）旧外国人日本文化体験プログラム実施事業 過去の実施状況（平成8年度開始）

区分／年度	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	累計
プログラム数	6	7	7	6	6	6	6	4	5	53
参加延べ人数（人）	257	353	349	191	222	244	224	156	175	2,171
参加者の国・地域	30	49	34	20	23	25	24	25	39	269
協力ボランティア数 （人・家族）	90	87	180	112	168	192	42	56	67	994

7 ひろしま国際交流サミット運営事業

1 目的

県内の国際交流団体やボランティアグループ等の情報交換・活動促進と相互連携を図る。

2 事業概要

県内の国際交流・協力団体やNGO・ボランティアグループ等により構成される「ひろしま国際交流サミット」（平成元(1989)年11月18日設立）の運営として、情報交換や協働事業の企画等を行う。

3 令和6年度実績

(1) ひろしま国際交流サミットの開催

会議名	開催日・場所	出席者	内 容
総会	10月30日(水) ひろしま国際センター	【出席者計】 34団体 53名 (内訳) ・来場出席 21団体 30名 ・Zoom出席 17団体 23名 ※両方に参加された 団体あり	○役員紹介 ○議長挨拶 ○令和5年度事業実績について ○講演会 テーマ：外国人と自然災害 講 師：(一財)ダイバーシティ研究 所代表理事 田村太郎 氏



ひろしま国際交流サミット総会・講演会

(2) 令和6年度助成金交付事業
該当事業なし

(参考1) 役員名簿

職名	氏 名	所 属
議長	上田 みどり	広島経済大学 名誉教授
副議長	香川 剛廣	(公財)広島平和文化センター 理事長
副議長	豊田 義政	(公財)ひろしま国際センター専務理事(兼)事務局長
幹事	宮地 尚	(特非)福山ブルガリア協会 会長
幹事	安藤 周治	さくぎ交流協会 会長
幹事	江口 和浩	(公財)東広島市教育文化振興事業団 常務理事

(参考2) 加盟団体の状況 (各年度末) 単位:団体数

年度 分科会	H4	H5	H6～R1	R2	R3	R4	R5	R6
広島地域	107	111	…	112	109	111	107	106
備北地域	11	13	…	6	6	6	7	7
備後地域	21	27	…	21	21	20	19	19
広島中央地域	—	—	…	11	11	12	13	13
合計	139	151	…	150	147	149	146	145

8 中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会運営事業

1 目的

地域を基盤として国際化活動をしている中国・四国地区の地域国際化協会が、情報交換や相互連携を通じて、地方における国際化活動の充実発展と全域的な国際化の促進に寄与する。

2 事業概要

幹事協会が座長となり、協議会を年1回開催する。

(参考) 構成団体

団 体 名	所 在 地
(公財) 鳥取県国際交流財団	鳥取県鳥取市
(公財) しまね国際センター	島根県松江市
(一財) 岡山県国際交流協会	岡山県岡山市
(公財) 山口県国際交流協会	山口県山口市
(公財) 徳島県国際交流協会	徳島県徳島市
(公財) 香川県国際交流協会	香川県高松市
(公財) 愛媛県国際交流協会	愛媛県松山市
(公財) 高知県国際交流協会	高知県高知市
(公財) 広島平和文化センター	広島県広島市
(公財) ひろしま国際センター	広島県広島市

3 令和6年度実績

中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会の開催

(令和6年度幹事協会：(公財) 愛媛県国際交流協会)

- (1) 開催日：令和6年12月5日(木)
- (2) 開催方法：対面
- (3) 出席者：構成団体及び(一財)自治体国際化協会の役職員
- (4) 内 容：○事業説明((一財)自治体国際化協会 多文化共生 主査)
○各協会の概況報告
○提出議題についての意見交換
○研修会
テーマ：入管法の改正について(育成就労制度について)
講 師：高松出入国在留管理局審査部門 伊藤 聡 首席審査官
青木 寛 総括審査官

9 平和貢献人材育成事業

1 目的

国際交流、国際協力や多文化共生に関する県民の理解を促進する。

2 事業概要

当センター主催の「H I C世界体験デー」を開催し、外国人と日本人が互いに交流し、異文化体験や国際交流ができる場を提供する。

3 令和6年度実績

開催日時	令和6年11月3日(日・祝) 10:00~16:00
開催場所	公益財団法人ひろしま国際センター
内 容	外国人団体等によるステージでの芸能披露(歌・舞踊・楽器の演奏)、広島県国際交流員や外国人留学生との交流ブース、外国の文化を体験できるワークショップ(韓国の王冠づくり、中国ちぎり絵、タイのカービング、メキシコ版ビンゴ「ロテリア」など)、HICクイズ、民族衣装展示・試着コーナーなど、さまざまな催しを実施した。芸能披露や交流ブースでは、毎年、県内の大学等に通う外国人留学生にボランティアとして協力いただき、母国の文化を紹介していた。
参加人員	来場者 160人
総 括	当センター単独でのイベント開催は5年目となった。親子連れをはじめ、日本人、外国人問わず、多様で幅広い層の県民に外国の文化に直接触れていただく機会を提供できた。また、本イベントを通じて、当センターが推進する国際交流および異文化理解に関する取り組みについて認識を深めていただく良い機会となったと同時に、地域における多文化共生に対する理解促進の一助となった。
開催状況	【外国人とのおしゃべりブース】  ベトナムブース 【外国の芸能披露】  フィリピンの音楽 【異文化体験ワークショップ】  韓国「新羅」の王冠づくり  メキシコ版ビンゴ「ロテリア」

10 グローバルキャリア教育支援セミナー事業

1 目的

国際舞台で活躍する人づくりに向け、県内の中・高生や大学生を対象に、海外での仕事経験がある講師が国際関係の仕事の紹介をし、広島から世界の懸け橋となる人材の育成支援を目的にセミナーを開催した。

2 事業概要

第1回は国連訓練調査研究所 広島事務所と国連教育科学文化機関 アフリカ地域能力開発国際研究所の方、第2回は JICA ニジェール支所とブルンジに永住した唯一の日本人の方を講師として、学生時代から現在までのキャリアや仕事内容等についてオンラインでお話いただいた。

3 令和6年度実績

実施日	令和6年7月7日(日)	令和6年10月19日(土)
テーマ	国連訓練調査研究所と 国連教育科学文化機関による講演	JICA ニジェール支所と ブルンジに永住した唯一の日本人の方 による講演
内容	・第1部：部谷 由佳氏(国連訓練調査研究所)の講演・質疑応答 ・第2部：森谷 香純氏(国連教育科学文化機関)の講演・質疑応答 ・講師から参加者へメッセージ	・第1部：山本 主税氏(JICA ニジェール支所)の講演・質疑応答 ・第2部：ドゥサベ 友香氏(ブルンジ在住)の講演・質疑応答 ・講師から参加者へメッセージ
講師	部谷 由佳氏/国連訓練調査研究所 森谷 香純氏/国連教育科学文化機関	山本 主税氏/JICA ニジェール支所 ドゥサベ 友香氏/ブルンジ在住
参加人員	47人	26人
総括	部谷氏は日本から、森谷氏はエチオピアから繋ぎ、学生時代から現在までのキャリアや仕事内容についてお話しいただいた。さらに、講師の方のこれまでの経験をもとに、海外での仕事や国連機関で働くことについて、具体的なアドバイスをいただき、多くの質問に答えていただいた。	山本氏は出張先であるコートジボワールから、ドゥサベ氏はブルンジから繋ぎ、学生時代から現在までのキャリアや仕事内容についてお話しいただいた。 「海外で働くこと」に慣れるためのステップや、学生のうちに自分が何に興味があるのか「実際に体験」して知ることが大事であると具体的なアドバイスをいただき、多くの質問に答えていただいた。
開催状況		

1 1 「国際理解講座」開催事業

1 目的

中学生や高校生を対象として、分かりやすい写真や事例を交えた講演を実施することにより、今世界で起きている問題を知り、興味・関心を持つ契機とする。

2 事業概要

異文化コミュニケーション事業の一環として開催。世界では様々な問題が発生しているが、これらの社会課題の発生原因や背景を専門家等に分かりやすく解説してもらい、私たちにできることは何かを考える。オンライン（Zoom）開催。

3 令和6年度実績

実施日	令和6年6月1日（土）	令和6年10月6日（日）
テーマ	フィリピンの貧困と私たちにできること	ヒロシマからパレスチナと平和を考える
内 容	・フィリピンが抱える貧困問題の現状 ・貧困を救うべく現地で立ち上げたお土産事業について ・質疑応答	・第一部 パレスチナ問題の歴史的背景や対立の原因 ・第二部 現在のパレスチナの人々の様子
講 師	BLJ Philippines Inc. 代表 峠 慶太郎 氏	・武田中学校 武田高等学校 アシュリ・サウザー 氏 ・サラーム（パレスチナの女性を支援する会） 水本 敏子 氏
参加人員	77 人	57 人
総 括	BLJ Philippines Inc. 代表・峠 慶太郎さんを講師に迎え、フィリピンのネグロス島にあるサトウキビ農家の貧困支援の内容や、ご自身のキャリアなどについてご講演いただいた。 特に干ばつや不作により不安定な収入が貧困の原因となっている現状を詳しく解説いただき、安定した副収入を得るための養鶏ビジネス支援についてもご紹介いただいた。 支援に至るまでの試行錯誤と困難に挑む姿勢が参加者に大きな感銘を与えた。広島出身で親近感のある講師ということもあり、県内の多くの中高生が参加し、事業内容からキャリア形成に至るまで幅広い質問が寄せられるなど、有意義な講座となった。	パレスチナ・ガザ地区で支援活動に尽力し、現在は県内の学校で教鞭をとるサウザー氏と、広島を拠点とし、伝統刺繍製品の販売等を通じてパレスチナの女性の自立を支援する水本氏を講師に迎え、パレスチナ問題の背景や現地での生活実態について、主に県内の中高生や大学生を対象にご講演いただいた。 ニュースや新聞、学校の授業だけでは知ることができない、講師の実体験を交えた講演は、参加者に深い共感を生んだ。日本からできる支援として、「正しい情報の取得」「行動の重要性」などが提言され、学びを行動につなげる契機となる貴重な機会を提供することができた。
開催状況		

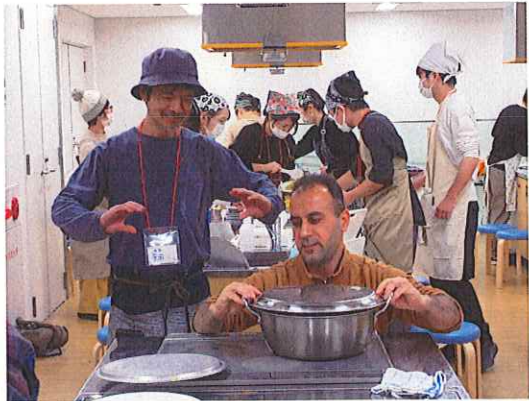
1 2 国際人材養成「異文化コミュニケーション研修」開催事業

1 目的

県内在住の外国人や、外国で国際協力等の活動経験のある日本人が、母国や赴任国の文化・習慣等について県内在住の日本人や外国人に紹介し、異文化理解を促進する。また、気軽な雰囲気での交流を通じて相互理解を深め、多文化共生社会づくりの一助とする。

2 令和6年度実績

実施日	8月3日(土)	8月17日(土)
イベント名	韓国料理教室 おうちで作れる本格韓国料理 チムタク	親子で参加 世界の国のことを学ぼう！ HIC キッズセミナー
内容	韓国出身の広島県国際交流員が講師となっておうちで作れる本格韓国料理「チムタク」を作る料理教室を開催した。料理を通じて韓国文化に触れていただくと同時に、講師や参加者で交流できる場を提供した。	小学生（親子参加）を対象に、元 JICA 海外協力隊員による赴任国の文化や言語、生活の様子などの紹介を行い、未来の多文化共生を担う子どもたちに、異文化や国際協力に触れる機会を提供できた。
講師	クオン・ヒョンジン 氏	馬場 尚子 氏（コスタリカ派遣） 増田 道子 氏（チュニジア派遣）
参加人員	15 名	27 名（子ども 14 名、大人 13 名）
開催状況		

実施日	2月11日(火・祝)	
イベント名	料理教室と異文化理解 ～アラブ料理と中東文化を知ろう♪～	
内容	シリア出身の講師を招き、本場アラブ料理を伝授した。試食中は、シリアの生活や食文化、宗教などについてのミニ講座も開催し、多くの質問があがるなど、参加者の中東文化に対する理解・関心がより一層深まる内容となった。	
講師	アル ファッラージュ ズィヤード氏、ウラー アル ナセル氏	
参加人員	22 名	
開催状況		

1 3 留学生奨学金支給等事業

1 目 的

県内で学ぶ外国人留学生の生活を支援するとともに、日本文化の理解を深め、県民との交流を促進する。

2 事業概要

(1) 留学生奨学金支給制度

広島県内の大学、大学院、短期大学等に在籍する私費外国人留学生に対し、奨学金を給付し、留学生の学生生活の安定と、諸外国との友好交流の促進に寄与することを目的とした制度

① ひろしま国際センター留学生奨学金制度：1 か月 3 万円、年間 36 万円を分割給付

○ センター：ひろしま国際センターの一般財源による奨学金（昭和 63(1988)年度開始）

○ 企業等協力：企業等の寄附（1 口 37 万円）による冠奨学金

年 2 回留学生と支援企業との交流会を開催（平成 2(1990)年度開始）

○ 県民支援：県民の寄附（1 口 5 千円）による奨学金（平成 6(1994)年度開始）

② 渡日等留学生支援に係る奨学金制度：18 万円を一括給付（平成 26(2014)年度開始）

新規の渡日又は他県からの転入により、新たに県内の大学や短期大学に進学した私費留学生を対象に、最も生活が不安定な時期である入学後半年間に重点化し、支援を行う。

○ 広島県留学生生活支援センター：広島県留学生生活支援センターの会費による奨学金

(2) 県内文化施設等優待事業

県内 63 文化施設等の入場料等を減免（昭和 63(1988)年度開始）

3 事業実績

年度 区分				S63～ H25 累計	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	累計
ひろしま国際センター 留学生奨学金	センター	支給(人)	通期	227	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3	3	263
			下期	194	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	194
	企業等協力	支給(人)	通期	1,153	47	45	48	49	48	46	38	36	37	38	38	1,623
			下期	63	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	64
		企業等数		1040	41	39	40	41	39	39	35	35	34	35	34	1,452
		口数		1,181.5	46.5	44.5	47.5	48	47.5	47	37.5	36	37	38	37.5	1,648.5
	県民支援	支給(人)	通期	66	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	88
			下期	87	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	87
渡日等留学生支援に 係る奨学金	センター	支給(人)	前期		6	6	6	6	6	6	4	5	8	4	0	57
			後期		4	4	4	3	4	4	4	1	3	4	0	35
	広島県留学生 生活支援センター	支給(人)	前期		6	6	6	6	6	6	3	5	9	5	5	63
			後期		4	4	4	4	4	4	4	2	3	5	5	43
支給人数(人)				1,790	72	70	73	73	73	72	59	55	66	61	53	2,517
文化施設等優待カード 発行数				10,408	667	615	1,092	1,584	1,606	1,010	424	341	1,309	865	2,167	22,088

1 4 留学生住宅情報提供事業

(民間宿舎情報提供、留学生住宅保証)

1 目 的

県内で学ぶ外国人留学生に係る住宅確保の円滑化を図る。

2 事業概要

(1) 民間宿舎情報提供事業

広島県留生活躍支援センターのウェブサイトにも民間宿舎情報が検索できるサイトのリンクを貼り、民間宿舎情報を提供する。

(2) 留学生住宅保証事業（平成 24(2012)年度開始）

民間宿舎の賃貸借契約の連帯保証人として、機関保証を行う。

① 対象者

「留学生住宅保証制度」に加入している広島県留生活躍支援センターの会員である大学、短期大学及び高等専門学校に在籍又は入学を許可された留学生

② 利用条件

- ・留学生は大学等の推薦を受けること。
- ・留学生は公益財団法人日本国際教育支援協会の「留学生住宅総合補償」に加入すること。
- ・ひろしま国際センターが定める「建物賃貸借契約書」を使用すること。

③ 内容

- ・延滞家賃とその延滞損害金
- ・退去に伴う原状回復に要する経費
- ・行方不明時及び帰国時の家財等の処分に要する経費

④ 保証金額

- ・建物賃貸借契約を解約する際に必要な補修費用などを敷金から充当しても不足する場合の債務の金額を保証し、「留学生住宅総合補償」の補償金支払額（上限 30 万円）を限度とする額



3 事業実績

- (1) 令和 6 年度の利用者・・・・・・・・・・ 6 名
- (2) 平成 2 4 年度制度開始以来の利用者総数・・・・ 1 0 2 名
- (3) 留学生住宅保証制度加入大学数・・・・・・・・ 7 大学

1 5 留學生就職支援事業

1 目 的

外国人留學生の県内企業への就職支援を強化し定着促進を図る。

2 事業概要

- (1) 体系的就職セミナー開催事業
- (2) インターンシップ事業
- (3) 就職活動個別コンサルタント事業
- (4) 企業・留學生交流会事業
- (5) 留學生企業説明会事業
- (6) ビジネス日本語セミナー

3 令和6年度実績

- (1) 体系的就職セミナー開催事業

<就職活動実践セミナー>

【準備編】

ア 目 的

就職活動の基礎知識、就労可能な在留資格など、日本での就職活動について知る。
日本語を勉強中の外国人留學生向けに英語で行う。

イ 事業概要

- ① 対 象 者：広島県内の大学・短期大学・高等専門学校に在籍している、日本語を勉強中の外国人留學生。

- ② 実施日等

日時	実施方法	申込者数	受講者数
5月25日(土) 10時～11時	オンライン (英語)	53	29

- ③研修内容：日本の就活ってなに？

日本と母国で働くのはなにが違う？

Q&A

- ④講 師：株式会社キャリアプランニング チゲ氏

【基礎編】

ア 目 的

就職活動の基礎知識、就労可能な在留資格など、日本での就職活動について知る。

イ 事業概要

- ① 対 象 者：広島県内の大学・短期大学・高等専門学校に在籍している外国人留學生

- ② 実施日等（3日間とも内容は同じ。都合の良い日を選択する方式。）

日時	実施方法	申込者数	受講者数
6月29日(土) 10時～11時	オンライン	17	14
7月27日(土) 10時～11時	オンライン	6	4
8月31日(土) 10時～11時	台風のため延期 (代替日：9月28日)	13	—
9月28日(土) 10時～11時	オンライン	7	6
合 計		43	24

- ③研修内容：日本の就活スケジュールを知ろう！
日本で働くことができる在留資格は？
自分のアピールポイントは？
Q & A

④講 師：株式会社キャリアプランニング チゲ氏

【実践編】

ア 目 的

日本企業への就職を目指し、これから就職活動を始めようとしている外国人留学生（学部3年・修士1年等）を対象に、「自己分析」「企業分析」「応募書類の作成」「面接対策」など、就職活動に必要な知識と実践的なスキルの習得を図る。

イ 事業概要

- ① 対 象 者：これから就職活動が始める外国人留学生（学部3年、修士1年等）
② 実施日等

会場	日時	場所	申込者数	受講者数
福山会場	10月26日（土） 13時30分～17時30分	キャリアプランニング 福山支社セミナールーム	2	2
東広島会場	11月16日（土） 13時30分～17時30分	広島大学 フェニックス 国際センターMIRAICREA	18	11
広島会場	11月30日（土） 13時30分～17時30分	ひろしま国際センター 交流ホール	15	9
		合 計	35	22

- ③研修内容：日本の履歴書ルールを知ろう
日本の面接ルール、ポイント
模擬面接

④講 師：株式会社キャリアプランニング チゲ氏、渡邊 裕子氏



<入社準備セミナー>

ア 目 的

日本企業への就職が決まった外国人留学生を対象に、「在留資格」「ビジネスマナー」「税金・保険」など、企業で働く際に必要な知識やスキルの習得を図る。

イ 事業概要

- ① 対 象 者：令和7年4月に日本企業へ入社予定の留学生
② 実 施 日：令和7年1月18日（土）13時30分～16時30分
③ 実施方法：オンライン
④ 参加者数等：申込者数 17名 受講者数 11名
⑤ 研修内容：・行政書士の先生から学ぶ在留資格の変更手続き
・知らないと困る“日本の税金制度・社会保険制度”
・日本の企業文化・ビジネスマナーの基本
⑥ 講 師：行政書士 藤本征典氏
株式会社キャリアプランニング 渡邊 裕子氏

(2) インターンシップ事業

ア 目的

県内企業での就業体験の場を提供し、実践的なビジネス日本語能力の向上や日本企業の理解促進を図る。

イ 事業概要

- ① 対象者：広島県内企業に就職意思又は関心がある留学生
- ② 実施時期：令和6年7月～令和7年2月
- ③ 受入協力企業及び参加人数
協力企業：6社
実施企業：1社
参加人数：3名

(3) 就職活動個別コンサルタント事業

ア 目的

県内留学生の就職活動に対する個別相談を行い、県内企業への就職を促進する。

イ 事業概要

- ① 対象者：就職活動実践セミナー受講者、就職活動を開始する学部3年・修士1年、及び就職活動中の学部4年・修士2年・博士課程の留学生等
- ② 実施時期：令和6年4月～令和7年3月
- ③ 相談内容：就職活動計画の策定、採用企業の情報提供、就職活動に関わる個別相談等
- ④ 実施方法：面談、オンライン（Zoom）、メール、電話等による。
- ⑤ 実績：48名（新規33名+継続15名）

(4) 企業・留学生交流会事業

ア 目的

企業と留学生の相互理解を深めるための場を提供するとともに、留学生採用企業の掘り出しにもつなげる。

イ 事業概要

<第1回>

外国人留学生と企業の気軽な交流会（JETRO・（一社）中国経済連合会共催）

- ① 開催日（場所）：令和6年9月27日（金）（オンライン）
- ② 参加者：企業関係 15社
留学生 14名（8校）
- ③ 内容：留学生と企業が2つのグループに分かれ、「日本での働き方」「就職活動」についてのテーマトークに沿ってオンラインで交流する。

<第2回>

外国人留学生と企業の気軽な交流会（JETRO・（一社）中国経済連合会共催）

- ① 開催日（場所）：令和7年2月7日（金）（広島市留学生会館）
- ② 参加者：企業関係 14社
留学生 20名（7校）
- ③ 内容：留学生と企業が5つのテーブルに分かれ、「働き方の違い」「今後のキャリア」等、5つのテーマに沿って対面で交流する。

(5) 留学生企業説明会事業

ア 目的

留学生に特化した企業説明会を開催し、企業と留学生とのマッチングを促進する。

イ 事業概要

- ① 開催日（会場）：令和7年3月7日（金）（広島市留学生会館）
- ② 対象者：主に県内の留学生採用企業と外国人留学生
- ③ 参加状況：出展企業 29社（29ブース）、参加留学生 56名（9校）



(6) ビジネス日本語セミナー

ア 目的

日本での就職活動に役立つ日本語力を高める。また、日本の商習慣や敬語などを学び、応募時から就職後まで日本人とのスムーズなコミュニケーションをはかれるような日本語を身につける。

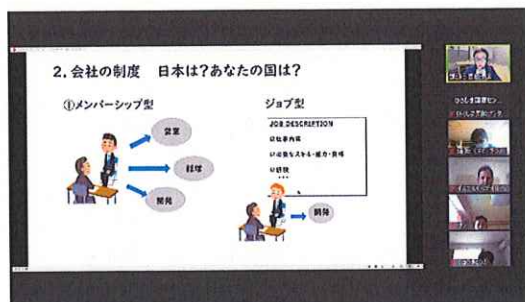
イ 事業概要

【基礎コース】

- ① 対象者：当センター構成団体の大学・短期大学・高等専門学校に在籍している日本語能力試験N2相当以上の留学生
- ② 実施日及び方法：（日程1）令和6年8月5日（月）～8月8日（木）
（日程2）令和6年8月13日（火）～8月16日（金）
どちらかの日程を選択。10時30分～12時（全4回）
Zoomによるオンライン講座
- ③ 参加者数：（日程1）14名 （日程2）11名
- ④ 講座内容：敬語の基本、クッション言葉、電話会話、メール作成
- ⑤ 講師：株式会社オリジネーター専属講師

【直前対策コース】

- ① 対象者：当センター構成団体の大学・短期大学・高等専門学校に在籍している日本語能力試験N2相当以上の留学生
- ② 実施日及び方法：（オンライン）令和6年9月9日（月）～9月12日（木）
10時30分～12時（全4回）
（対 面）令和6年13日（金）10時～17時
場所：ひろしま国際センター交流ホール
- ③ 参加者数：（オンライン）12名 （対面）4名
- ④ 講座内容：敬語を使った実践、企業の採用動向、就職活動について、業界研究・企業研究の基本および実践、面接の基本、面接練習
- ⑤ 講師：株式会社オリジネーター専属講師



1 6 留学生受入促進事業

1 目 的

国内外からの優秀な留学生の受入れを促進するため、広島県の留学環境や県内大学・日本語教育機関を紹介するPR活動を行う。

2 事業概要

県内の大学等に在籍する留学生で結成した「ひろしま留学大使」によるSNSを通じた広島県の留学生活の魅力発信、国内外の日本語学校等で勉強している留学生及び進路指導を行う教職員を対象とする「大学進学促進事業」を実施する。

3 令和6年度実績

(1) ひろしま留学大使事業

中国、ベトナム、韓国、インドネシア、ミャンマー、ブラジル、エルサルバドル、ジャマイカ、ナイジェリア、エストニア、ドイツの10か国からの留学生25名により結成された「ひろしま留学大使」が、SNSを通じて広島留学の魅力を国内外に広く発信した。また、県内地域団体のボランティア活動やイベント運営等を通じ、地域住民との交流・地域貢献に寄与した。

(2) 大学進学説明会事業

ア 目 的

主に県内の日本語学校等に在籍する留学生及び進路指導を行う教職員を対象に、県内大学への進学を促進する。

イ 事業概要

実施日時：令和6年9月17日（火）13：00～16：30

会 場：広島市留学生会館

実施方法：会場内に各大学（7校）のブースを設けて説明

参加者数：20名（留学生18名、教職員2名）

(3) 大学体験入学会

ア 目 的

県内外の日本語学校等に在籍する留学生に実際に県内大学を訪問してもらい、大学施設の見学や模擬授業の体験などを通して県内大学進学を促す。

イ 事業概要

①福山大学・福山平成大学

実施日時：令和6年10月3日（木） 参加者数：2名

②県立広島大学・比治山大学

実施日時：令和6年10月9日（水） 参加者数：17名（内1名は引率者）

③広島経済大学・広島修道大学

実施日時：令和6年10月16日（水） 参加者数：18名（内1名は引率者）

1 7 留学情報等提供事業

(留學生ウェブサイト、留學生交流)

1 目 的

県内外の留學生に、広島県の留学環境や生活・勉学支援、就職支援の情報や、県内の留學生採用企業情報などを「広島留学ポータルサイト」により提供する。

交流事業を通して、県内留學生間の親睦を深め、日本人学生、地域住民との交流を図る。

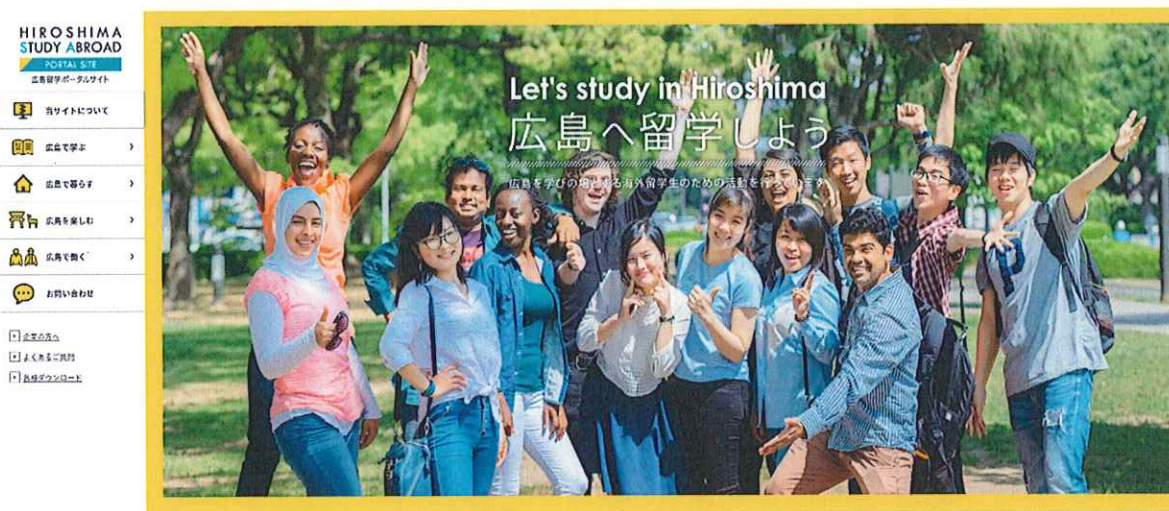
2 事業概要

- ・ 広島県の留学環境（学習、生活、娯楽など）、広島県の高等教育機関、留學生生活躍支援センターの活動等について情報提供を行う。
- ・ ワークショップなどの交流イベントを開催し、留學生と日本人学生、地域住民と共にまちづくりについて考え、交流を促進する。

3 令和6年度実績

(1) 留學生ウェブサイト事業

平成30年度に開設した広島留学ポータルサイトの、多言語（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語）対応を実施することにより国内外へ情報発信。また、情報更新を実施。



(2) 留學生交流事業

ア) 留學生・地域住民間の交流

北広島町で地元の高校生から地域の魅力を紹介してもらい、一緒にりんごの収穫や神楽鑑賞、習字などの日本文化体験などを行いながら交流を深めた。

実施日：令和6年9月19日(木)

実施場所：山県郡北広島町

広島県立加計高等学校芸北分校

参加人数：計128名

(留學生38名・広島県立加計高等学校
芸北分校の生徒90名)



イ) 学生団体と連携した交流

広島大学の現役学生とOBのグループ「ひとむすび」と共催

「ひとむすび」：東広島地区の地域活性化を目指し、まちづくりイベント運営や人材育成、課題解決支援を手掛けながら、地域の魅力発信をおこなうWEBメディアの運営など、幅広い活動を展開している。

東広島市平岩地区で、地元住民との交流会を行った。地元の方から地域のお話を伺ったり、質問をしあったりして交流を深めた。また、地元で活動する三味線や茶道のサークル見学を通じて日本文化にも触れる体験をした。

実施日：令和6年6月22日(土)

場所：東広島市西条町平岩地域センター

参加人数：留学生30名、地元住民30名



ウ) 外国人留学生によるボランティア活動

① 広島県立加計高等学校 文化交流会

留学生による歌や踊りなどの母国紹介を始め、高校生によるソーランの披露や書道・茶道の体験、うちわ作りやかき氷等のミニ縁日を通して交流した。

実施日：令和6年7月9日(火)

場所：山県郡安芸太田町

広島県立加計高等学校

参加人数：留学生15名

高校生および教職員80名



② 広島市立竹屋小学校 多文化共生講和

インドネシア出身の留学生が、教職員を対象にイスラム教やムスリムの文化についての講和をおこない、日本で暮らすムスリムの方々の思いや願いを知ること、多文化理解・人権教育についての知識を深めた。

実施日：令和6年7月23日(火)

場所：広島市立竹屋小学校

参加人数：留学生2名、教職員23名



③ 東原中学校 交流会

さまざまな国の留学生が、生徒・保護者・教職員を対象に、クイズなどを交えた母国紹介をおこなった。また、和やかな雰囲気でのグループワークやかるたなどで交流を深めた。

実施日：令和6年8月20日(火)

場所：広島市立東原中学校

参加人数：留学生7名、小中学生25名、保護者8名



④ シャギリ秋祭り

辻町内会主催で例年開催されている豊作を祝う秋まつりに留学生がそろいの浴衣を着て参加し、地域住民や地元の高校生と交流した。

実施日：令和6年10月20日（日）

場所：安芸郡府中町 多家神社

参加人数：留学生19名、広島県立安芸府中
高等学校の生徒約10名



⑤ 仁保公民館クリスマス会

小学生を対象に、簡単な英語を用いたコミュニケーションや外国の文化が学べる講座を開催した。留学生による母国紹介や、英語を使ったクリスマスカード作りのレクチャーなどをおこなった。

実施日：令和6年12月21日（土）

場所：仁保公民館

参加人数：留学生1名、小学生・未就学児6名
保護者3名



エ) ホームステイ・ホームビジット

広島県内の留学生が地域住民の自宅に訪問し、日帰りまたは1泊2日で気軽に家族の一員として一緒に食事を作ったり、お話したり、外出したりして地域の人たちとのつながりを作った。

令和6年度実績：ホームビジット10回

ホームステイ 3回

参加人数：留学生16名

